

平成23年度学内版 GP 成果報告書

取組名	分野横断型フィールド実践による学士力の向上
実施組織	人文学部
実施責任者	花崎美紀
取組の目標	<p>人文学部の教育・研究目標であり、ディプロマポリシーである「実践知」の効果的な修得プログラムの整備。具体的には以下のことを行う</p> <p>(1) 分野が横断的であることを支えるための「実践知フィールド実践ゼミ」の設置</p> <p>(2) 学生に対する4年間のきめ細かく一貫した対応を保证するための<u>プログレスシートシステム</u>の導入</p> <p>(3) フィールド活動を通して、コミュニケーション能力や社会適応能力を適切に伸ばし、学生の参加をフォローするための、臨床心理学を活かした<u>実践活動カウンセリング・システム</u>の導入。</p>
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>1. 採択前より行っていたフィールド実践のより一層の充実（グループ活動の強化、チューターの配属、実践科目の整備）</p> <p>2. 改組の際に新設する科目のなかに、「フィールド実践」科目を新設</p> <p>3. 4件のフォーラム等を開催</p> <p>4. カウンセリングシステムは、大学全体の取り組みとして拡大</p> <p>5. 新規に、信州大学保育園をフィールドとする活動を開始</p> <p>6. 新規に、松本中央図書館をフィールドとする活動を開始</p>
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	<p>分野横断型のフィールド実践を新規に2件、継続で5件行い、フィールド実践を組み込んだ教育体系の再構築を目指した動きを行うことができた。これらに対する外部からの評価も上々であり、そこで得られた評価をもとに、継続して、教育体系の再構築を行いたい。</p> <p>より一層の分野横断型のフィールド実践を行うためには、より多くの分野に参加を呼びかけ、さらに、フィールド実践を行うことを躊躇する教員・学生に対するケアが必要であると思われる。</p>